

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 観光客誘致促進事業
-------------------	------------------------

区分	番号	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	2	心と体を癒す観光のまちづくり
主要な施策	1	広域連携による濃密な情報発信
事務事業番号	003	事務事業コード 31121003 事業開始年度 昭和 4 5 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	観光客誘致促進事業費
------	------	------------	------------

部 名	観光経済部	グループ名	観光室観光振興 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 観光客の増加
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> イベントやキャンペーンへの参加、観光パンフレット・ポスターの作成、国内外からの観光客の誘客活動の実施。 平成22年度実績 <ul style="list-style-type: none"> ・各種行事等に対する特産品（記念品）の提供 ・西いぶり物産展への参加 ・道外修学旅行誘客プロモーション参加 ・観光パンフレット、散策マップ、ポスター作成 ・新聞広告掲載 ・北海道観光振興機構への負担金
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 温泉や自然景観の積極的なPRにより、国内外の観光客の入込み増加につなげる。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	観光入込客数	千人	目標値	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100
			実績値	3,042	/	/	/	/
	宿泊客延べ数	千人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,164	/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	4,278	7,636	6,087	6,087	6,087	18,261
合 計			4,278	7,636	6,087	6,087	6,087	18,261
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	1,733	1,779			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		1,733	1,779			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 登別市の基幹産業である観光産業の振興を図るため、情報発信するための資料作りを実施することや、(社)登別観光協会をはじめとする観光関連団体が実施する活動に市が参加するための経費であり、実施することは妥当である
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 国内外の観光客にPR活動を実施していることにより、外国人観光客が増加傾向にある。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 国内外の観光客のニーズを的確に把握し、それに見合った事業展開をおこなう。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト(予算や人工、所要時間)を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 現在の事業に加え、海外向けの観光戦略実施の予定があるため、削減することは難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	国内外からの観光客の促進を図るため、今後も継続して当該事業の実施が必要である。
----	----------------------	---

総合的な評価(当該事務事業の方向性)

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大(事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業)
- 維持(現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業)
- 改善(現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業)
- 休止(暫定的に休止する事務事業)
- 終了(当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業)
- 廃止(当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業)